

し どう き よ う え  
修 嚴 會 經 堂 祠

二〇二〇年

六月十四日 午後二時より

十五日 午後二時より

尼講並びに尼講の御膳付きそしてお勤めのあとの  
お説教もございません。ご了承ください。

本年は新型コロナウイルス感染症防止のため縮小させて勤めさせていただきます。



本年は本堂にお越しいただいても結構ですが、できれば同じ時間にご自宅にあるお仏壇の前に座り、南無阿弥陀仏とお念仏を申していただけたらと思います。

封筒が懇志袋になっています。よろしければですが、懇志のご協力もお願いします。

平生の月参りのときお渡しくださってもよろしいですし、下記の口座に振り込んでくださっても結構です。ご協力お願いします。

振込先    なのはな農業協同組合  南部支店  金融機関コード  5898  支店コード  274  
普通口座            1040998    常入寺

※申し訳ありませんが振込手数料はご負担ください。

# 御文をいたたく 特別編

## 四帳目第九通 疫癘の御文

当時このごろ、ことのほかに疫癘とてひと死去す。これさらに疫癘によりてはじめて死するにはあらず。生まれはじめしよりしてさだまれる定業なり。さのみふかくおどろくまじきことなり。しかれども、いまの時分にあたりて死去するときは、さもありぬべきようにみなひとおもえり。これまことに道理ぞかし。このゆえに、阿弥陀如来のおおせられけるようは、「末代の凡夫、罪業のわれらたらんもの、つみはいかほどふかくとも、われを一心にたのまん衆生をば、かならずすくうべし」とおせられたり。かかる時はいよいよ阿弥陀仏をふかくたのみまいらせて、極樂に往生すべしとおもいとりて、一向一心に弥陀をとくときことと、うたがうところつゆちりほどもつまじきことなり。かくのごとくころえのうえには、ねてもさめても、南無阿弥陀仏、南無阿弥陀仏ともうすは、かようにやすくたすけます。御ありがたさ、御うれしさを、もうす御礼のころなり。これをすなわち仏恩報謝の念仏とはもうすなり。あなかしこ、あなかしこ。

※疫癘：流行性のたちの悪い病氣。疫病。

### 死因は病氣ではなく

私たちが生まれたこと

78歳の時に

この御文は延徳四 られたものです。文章の(1492)年、蓮如上人 最初には「当時このごろ、

ことのほかに疫癘とてひと死去す」とありますので疫癘すなわち疫病がはやって沢山の方々が亡くなつていかれたというところが当時おこつていたのでしょう。今新型コロナウイルスという未知のウイルス感染症が世界中に蔓延しています。同じ状況ともいえるのかもしれないですね。

そういういわば未知の感染症におびえている私たちに對して、しれつと「疫癘によりて初めて死すにはあらず生まれはじめしより定まれる定業なりさのみ深く驚くまじきことなり」とおっしゃつておられます。死というのは疫癘が原因で死んでいくのではなく生まれたときから決まったことなのですよ、と私たちに確認されています。これは私もよく話させていただいていることです。よくテレビなどで有名人が亡くなると「死因は〇〇でした」と報道されてい

ますが、仏教的に言えば、病氣や事故が死因になるわけではないのです。死ぬことの原因はどこまでいつても私たちがこの世に生を受けたこと、生まれたことなのです。病氣などは因ではなくて縁なのです。病氣や事故に遭わなければ私たちはずっと生きられるわけでは決してないのです。生まれながらにはわたしたちはいつか必ず死んでいかなければならないのです。

これがある意味世のならいなのです。決して忘れてはならないことなのです。というふうには他人様にはいえることなのですし、他人の死を見てそういうふうに見えることなのですが、なかなか我がこととしては領けないことですね。他人に言つておきながら一番わかつてないのが私なのでしょう。本当にお恥ずかしい限りです。

### 一生懸命すればするほど 人を差別してしまう可能性が

今回のような感染症が自分の近くにまで迫ってくるとう自分が死ぬのではないかとこのところから不安や恐怖心が起こってきますね。そしてその不安からというか自分が死ぬかもしれないという恐怖から病氣にならないようにと努力します。この努力に一生懸命になればなるほど、一生懸命にしていると思われの人に嫌悪感を感じることがあ

ります。この感情が行き過ぎると偏見・差別をしてしまいます。現に医療の最前線でも働いておられる方の子どもが保育拒否をされたということや、発病された方の家に石を投げられたとか、親御さんがその地におられなくなり出て行かれたという噂を耳にします。本当ならば本当に悲しいことです。人と人が憎しみあつたりすることは避けな

いといけないことですよ  
ね。このような私たちの生  
き方がある意味先輩方は  
「地獄」とあらわしてこら  
れたことなのでしょう。地  
獄は死んだ後にやってくる  
世界ではなくて今の私たち  
のあり方を言い当てている  
のが地獄ともいえると思っ  
ます。

ほとんどの方は差別する  
ことはいけないことだとわ  
かっていますし、差別はし

## 後生の一大事 二ころにかけよ

いざとなるとわたしたち  
はできれば死にたくないも  
のです、やっぱり。しかし  
その思いはどうしても叶わ  
ないことなのです。自分の  
死を先延ばしにすることは  
できたとしても自分が死な  
なくなることはあり得ない  
ことなのです。「私」には  
死が必ずやってくるとい  
うことを受けとめざるを得  
ないのです。

死を受けとめるといつて  
もそれはさとりを得るよう  
に冷静に死を受け入れると  
いう、「さとりの境地」の

ていない思っておられること  
でしょう。なのに差別はこ  
おこってしまうのです。な  
ぜおこるのかといえば差別  
していることに気づいてい  
なかったり、自分なりの差  
別する正当な理由があると  
おもっているからです。差  
別をなくしていくにはどこ  
までもわたしたちはいつで  
も差別してしまう存在だと  
いうことを忘れてはならな  
いのです。

ようなものではなくてもよ  
い気がします。怖がり続け  
ながらでも、二偈続けなが  
らでも人生が終わるとい  
うことをイメージすることが  
大事なのかもしれません  
ね。私に死というものが身  
近になって自分の人生を振  
り返るといいうことも死を受  
けとめるといいうことにつな  
がるのではないかと私は  
思っています。自分はどう  
な生き方をしてきたのか？  
そもそも生きるって何？人  
間って何？というふう  
に、ひとりでは考え

ひとりでは考え

阿弥陀さまからいただいた  
た「南無阿弥陀仏」という  
言葉をやりにして。南無  
阿弥陀仏と称えてこられた  
先輩方と一緒に自分の生き  
てきた道を振り返りまし  
う。そうすると限りある人  
生において何をしないとい  
けないのか、何を大事にし  
て生きていいのかというこ  
とが少しづつ見えてくるか  
もしれません。今までを振  
り返ると未来や目標が見え  
てきます。そして今それに  
向かって何をしないといけ  
ないのかということも同時  
に見えてきます。

わたしたちはたまたまい  
のちをいただき、またたま  
たま人として生まれ来てい  
います。そして限りある人  
生を今生きているのです。  
今回のコロナ騒動で生きる  
ことの珍しさ、ありがたさ  
を私たちに教えられている  
ようにも思います。

### 今日のこぼれ

# 猫に小判というが あわれ、人間は その小判に目がくらむ

榎本栄一

「猫に小判」というのは、  
価値のわからない者に高価  
なものを与えても無駄であ  
ることの譬えです。猫に小  
判すなわちお金を与えた  
してもわたしの社会に過  
しているもののようにお金  
として使うということはな  
いのではないのでしょうか。  
ちにも猫が一匹いますが彼  
の動向を見ていると店屋に  
行って何かとお金を交換し  
てきそうな気配は全く感じ  
られません。貨幣ならば球  
を捕って遊ぶのがせいぜい  
ではないでしょうか。  
しかし人間にとつてお金  
は、今や生活に欠かせない  
大切なものになっていま  
す。お金は本来、物品と交  
換するために作られた手段  
であり道具であるはずで

す。しかし人間は、そのお  
金に必要以上の価値や意味  
を持たせて「お金さえあれ  
ば何でも解決できる」とい  
う幻想をもってしまった  
います。また、その幻想によ  
って人間が振り回され、悩み  
苦しんでいるように思えま  
す。恥ずかしながら私の生  
き様そのものなのですが  
…。

今コロナウイルスの蔓延  
により経済が疲弊してし  
まい私たちもお金に目がく  
らんでしまっています。今だか  
らこそ自分自身が一体何に  
価値を感じていたのかを改  
めて仏法にたずねて確かめ  
ていかなくはならないと  
きなのでしよう。

# 祠堂について

お寺に寄付することを<sup>しどう</sup>祠堂といいます。どうも<sup>しどうせん</sup>祠堂銭という言い方を以前はしていたようです。身内が亡くなられたことを縁として祠堂されることが多いです。指導をなぜされてきたのかということと考えればそれはひとえに仏教(お釈迦さまの教えが)がつまでも相続されるように、多くの人にとどくようにという思いからされてきたと思っています。祠堂されるかたの思いということもアあるのでしようが、それ以上に今亡くなられた人が願われてきたこととして、その思いをつけ継いでされてきたのでしよう。いつ祠堂すればよいのですかと聞かれることがあります、寄付です、しなければいけないこともありませんし、いつということも決まっています。思い立ったときお寺にお持ちいただければよろしいです。また金額もお気持ちをお入れください。多い少ないということはありません。祠堂しようというお気持ちがお寺にとってこの上ない喜びです。

常入寺では祠堂を頂いた方々に祠堂のお勤めを祠堂経会の初日にまとめてさせていただいています。今年の祠堂経会の時にと思われるのでしたら出来るだけ早くお申し込みください。準備の都合等がございますので、祠堂経会の当日祠堂いただいてもお勤めできないこともございます事ご了承承ください。

常入寺では祠堂を頂いた方々に祠堂のお勤めを祠堂経会の初日にまとめてさせていただいています。今年の祠堂経会の時にと思われるのでしたら出来るだけ早くお申し込みください。準備の都合等がございますので、祠堂経会の当日祠堂いただいてもお勤めできないこともございます事ご了承承ください。

【あとがき】ごぼはんだより 326号を皆様にお届けします。祠堂経のお誘いのためにごぼはんだよりを発行するはずでしたが、今回の新型コロナウイルスの蔓延により祠堂経をの規模を縮小せざるを得なくなり、またおまいりのお誘いも断念せざるを得なくなりました。しかしごぼはんだよりの祠堂経特集を「世の中安穩なれ仏法ひろまれ(親鸞聖人)」のスローガンのもと皆様のお手元にお届けしたいです。それもいつもよりページ数を増やしてお届けいたしてあります。浄土真宗という仏教においてお寺の存在意義は皆様に仏様の教えを聞いてもらう場としてです。そういう活動を中止せざるを得なくなっている今、紙面をもつて皆様に念佛を称えていただくご縁をお運びするしかありません。つたない文章ですが、今回はいつも以上に心を込めて書かせていただいています。よろしければお読みください、感想など聞かせていただければ就職のはげみとなります。よろしくお願いいたします。

常入寺 常入寺本堂のすみっこに

が開設されています。

絵本と中心として150冊くらいしか蔵書のない小さな図書館(?)です。東本願寺より絵本を100冊プレゼントされたことから始まります。

常入寺文庫はどなたでもご利用いただけます。午前9時から午後5時くらいまでご利用いただけます。本堂の入り口よりお入りください。お寺のものに声をかける必要はありません。お自由にどうぞ!

子どものための絵本、そして大人のための絵本もあります。興味がありませんでしたらちよつと覗いてみてください。

いつでも阿弥陀さまが一緒です。



発行 真宗大谷派 常入寺

電話 九三〇一〇一六一富山市東老田七八七  
住職携帯 (〇七六)四三六一〇八一六  
発行責任 青井 和成  
九〇一三七六四一三九八三



LINEははこちらから↓  
LINEからもできます



## こんな時だからこそ、お説教を動画で聞きませんか?

東本願寺 しんらん交流館



東本願寺 真宗会館 (東京)



東本願寺 高岡教区



東本願寺 大阪教区



スマートフォンで上のQRコードを読み取ってご覧になってください。わからない場合には住職に問い合わせください。